

【エネルギー】

- 001) 天野博正、1990：地球温暖化への電気事業の対応－地球温暖化の電気事業に及ぼす影響－、土木学会誌、Vol.75、No.5、pp.93-96.  
(Potential impacts of global warming on electric utilities.)
- 002) 井村秀文、1991：地球環境・エネルギーと持続可能な開発、土木学会地球規模環境問題に関するミニワークショップ講演集、pp.75-78.
- 003) 内山洋司、1992：発電プラントの温暖化影響、化学工学、Vol.56、No.7、pp.507-511.  
(Greenhouse Effect of Power Generation Plants.)
- 004) 内山洋司、山本博巳、1992：発電プラントの温暖化影響分析、電力中央研究所報告、49pp.
- 005) 大嶋哲夫、1992：特集 環境と省エネルギー 地球サミットと日米の論調、省エネルギー、Vol.44、No.9、pp.31-35.
- 006) 大橋忠彦、1990：地球環境問題と天然ガス、エネルギー経済、Vol.16、No.11、pp.40-46.
- 007) 岡松壮三郎、1990：温暖化への提言 地球温暖化問題への対応－「地球再生計画」について－、PPM、Vol.21、No.9、pp.8-13.
- 008) 岡本和人、1988：地球環境とエネルギー選択、エネルギー、Vol.21、No.10、pp.47-50.  
(Global environment and selection of energy.)
- 009) 岡本和人、1989：地球環境問題への対応と原子力の位置づけ 現実化する温室効果、原子力工業、Vol.35、No.11、pp.13-21.
- 010) 小川芳樹、1991：地球環境とエネルギー問題－地球温暖化問題を中心として－、産業公害、Vol.27、No.1、pp.43-49.  
(Global warming problems and energy problems.)
- 011) 小野賢治、1989：気象と電力需要、オペレーションズ・リサーチ、Vol.34、No.6、pp.252-256.
- 012) 柏木孝夫、1989：地球温暖化防止とエネルギー利用技術、省エネルギー、Vol.41、No.8、pp.1-8.
- 013) 柏木孝夫、1989：特集 地球環境を考える 多様化する地球環境問題と省エネルギー技術開発への期待、省エネルギー、Vol.41、No.11、pp.2-10.
- 014) 加藤央之、1990：特集 地球温暖化問題とエネルギー利用との調和 地球温暖化による影響と適応対策、化学技術誌M O L、Vol.28、No.3、pp.52-58.
- 015) 茅陽一、1986：エネルギーシステムとその評価に関する研究 昭和60年度研究成果報告書、189pp.
- 016) 茅陽一、1987：エネルギーシステムとその評価に関する研究 昭和61年度研究成果報告書、166pp.
- 017) 茅陽一、1990：地球温暖化と現代文明、日本機械学会誌、Vol.93、No.863、pp.810-812.  
(Global warming and modern civilization)

- 018) 茅陽一、1990：地森再生計画 温暖化対策への提言、省エネルギー、Vol.42、No.13、pp.22-32.
- 019) 真田雄三、1991：特集 地球資源はどうなるか 地球環境問題の中での石炭の役割、化学工業、Vol.42、No.1、pp.9-14.  
(Coal resources and the role of in global environment.)
- 020) 白砂孝夫、1990：電力土木施設の地球温暖化への適応、電力土木、No.229、pp.3-11.
- 021) 石油公団、1991：酸性降下物と地球温暖化：石油・天然ガス産業との関係と与える影響（その1）、石油の開発と備蓄、Vol.24、No.6、pp.3-51.
- 022) 石油公団、1992：酸性降下物と地球温暖化：石油・天然ガス産業との関係と与える影響（その2）、石油の開発と備蓄、Vol.25、No.1、pp.29-56.
- 023) 瀬間徹、1991：地球環境問題と電気事業の展望、日本機械学会誌、Vol.94、No.869、pp.310-312.
- 024) 中尾真一、1990：CO<sub>2</sub> はどこまで減らせるか、化学工学、Vol.54、No.1、pp.44-50.  
(How to Reduce Carbon Dioxide)
- 025) 西宮昌、1989：地球的規模の環境汚染と防止技術の確立をめざして 炭酸ガスへの対応と課題、化学技術誌MOL、Vol.27、No.7、pp.47-52.
- 026) Nishinomiya, S. and H. Kato, 1989: Potential Effects of Global Warming on the Japanese Electric Industry - Event tree of impacts on the electric utility industry stemming from climate - induced changes in the natural environment, ecosystems and human society., CRIEPI report, in press.
- 027) 西宮昌、1990：地球環境とエネルギー問題、日本機械学会－動力・エネルギー技術の新しい展開－、11月.
- 028) 西宮昌、1990：電力システムと地球環境、京都大学環境衛生工学研究会第12回シンポジウム講演論文集、Vol.12、pp.249-254.
- 029) 日本貿易振興会、1992：温室効果ガス排出抑制のためのエネルギー技術の選択、JETRO技術情報、No.319、pp.17-23.
- 030) 福本弘、1990：地球環境を考える（その1）、地球環境問題とエネルギー戦略、電気協会雑誌、9月.
- 031) 堀善夫、1991：大気中の二酸化炭素の濃度上昇と温室効果、千葉大学廃棄物処理施設報、Vol.10、No.14、pp.1-5.  
(Rise of Atmospheric CO<sub>2</sub> Concentration and Greenhouse Effect.)
- 032) 松尾友矩、花木啓祐、一ノ瀬俊明、平松直人、1991：地球温暖化による都市環境の影響評価及び対策に関する研究－都市エネルギーシステムへの影響評価及び対策に関する研究、平成2年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（環境庁）、pp.415-424.
- 033) 松尾友矩、花木啓祐、一ノ瀬俊明、1992：都市エネルギーシステムへの影響評価及び対策に関する研究、平成3年度地球環境研究総合推進費研究成果報告集（I）（環境庁）、pp.368-371.

(Analysis of Energy Consumption Structure in Urban Area)

- 034) 松岡 譲、1990：地球温暖化現象の総合モデルとそれによる濃度・温度上昇の見通し、京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム講演論文集、Vol.12、pp.270 - 276.  
(Comprehensive modelling of global warming.)
- 035) 三浦 登、海老原 康、奥田 康介、小林 料、富舘 孝夫、田中 紀夫、1990：座談会地球温暖化問題をどう受けとめるかー産業界の対応策と今後の展望ー、エネルギー経済、Vol.16、No.7、pp.2-22.
- 036) 水野 光一、1990：特集 地球環境とリサイクル オゾン層の保護とフロン回収・再利用、金属、Vol.60、No.10、pp.14-19.
- 037) 柳下 正治、1992：地球温暖化問題とエネルギーへの影響、土木学会誌、Vol.77、No.3、pp.13-17.
- 038) 山地 憲治、松橋 隆治、1989：CO<sub>2</sub> 問題とエネルギー戦略、原子力工業、Vol.35、No.7、pp.13-20.
- 039) 山地 憲治、1992：地球温暖化対策の経済的影響、景気観測、2月.
- 040) 横山 長之、1990：地球環境問題から見たエネルギー技術への期待、日本産業技術振興協会技術資料、No.195、pp.1-11.
- 041) 横山 長之、1991：特集 地球温暖化と対策技術 温室効果ガスの放出量温室効果ガス濃度の動向 温室効果ガス濃度増加の影響の検出と将来予測、日本の科学と技術、Vol.32、No.260、pp.32-37.